

小枝利汎 × 飛驒市美術館 副館長トークイベント

小枝氏がよせる油彩に描くことへの想い、歩んできた道、影響を受けた人々等、インタビュー形式でお話をうかがいます。

10/17 (土)

午後2時～午後3時

飛驒市美術館 常設展示室

※参加費無料、入館料(200円)必要

※事前申込不要

参加人数多数のときは、制限を行う場合がございます。
当日参加者の氏名、住所、電話番号のご記入をお願いします。
万が一当館で新型コロナウイルス感染が確認された場合、感染拡大抑制のため保健所などの公的機関に情報提供することがあります。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



飛驒市古川町在住の小枝利汎 (1925 (大正14)年-)

1948年(昭和23)年、高山市の故徳永富士子氏の画塾で学んだ後、絵を学びたい一心で上京しました。帰郷後は、96歳になる今日にいたるまで絵を描き続けています。小枝氏の画業の底流にあるものは、厳しい飛驒の風土に生きる人々へのあたたかなまなざしです。どの作品からも、この地に根を下ろし生活を営む人々、とりわけ、親子(母子)、老人への愛おしむ心がうかがわれます。



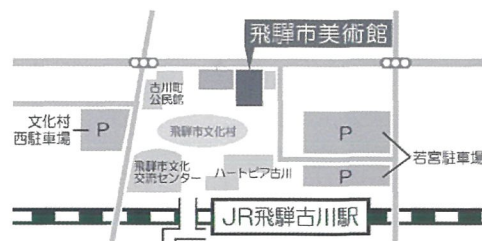
上屋美千弘 副館長

主催 岐阜県博物館協会 飛驒ブロック部会

共催 飛驒市教育委員会 飛驒市美術館

お問い合わせ 飛驒市美術館

〒509-4221 岐阜県飛驒市古川町若宮 2-1-58
Tel.0577-73-3288 Fax.0577-73-5003



本事業にご支援いただいている企業・団体

公益財団法人

田口福寿会

OKB 大垣共立銀行

十六銀行